

東北精神保健福祉学会
会員各位

第16回東北精神保健福祉学会宮城大会のご案内

2010年9月に東北精神保健福祉学会が発足し、東北精神神経学会との共催で東北6県持ち回りでの大会開催も今回で第16回を迎えることになりました。

その間、本学会は東北6県持ち回りで開催して宮城においても3巡目の開催となりました。今年は、東日本大震災から14年が経過し、これまで宮城県における被災者及び被災地支援を担ってきたみやぎ心のケアセンターが9月を持って業務終了となり、市町村や宮城県精神保健福祉センターやそれぞれの市町村の担当者に引き継がれることになっています。そこで今回のテーマを「こころの絆を考えるー東日本大震災から14年 今そしてこれからー」とし、震災を経験しこれからのメンタルヘルスを考えるシンポジウムも企画し、2025年10月5日（日）に東北大学医学部保健学科にて開催することとなりました。

東北地方の精神医療・保健・福祉分野の現場で活躍する専門職の皆様の演題登録をお待ちしております。一般演題の募集要項を同封しますのでご覧ください。演題申込用紙と抄録原稿提出は7月18日（金）までにFAXまたはメールで第16回宮城大会事務局までお送りください。発表に関する決定につきましては、8月中を目途に通知いたします。

第16回東北精神保健福祉学会宮城大会では、午前中にシンポジウム・一般演題の発表、午後に特別講演を予定しております。演題発表はされなくても、大会にご参加いただいで発表をお聞きいただき、質疑にご参加いただければ幸いです。実行委員一同精一杯準備させていただきますので、皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。

第16回東北精神保健福祉学会宮城大会への参加のご都合をお伺いする参加申込書につきましては、8月頃にお送りしますので、9月26日（金）までにFAXまたはメールにて第16回宮城大会事務局までにお送りください。

非会員の皆様にもご参加いただけますので積極的にお声がけをお願いできればと存じます。

大会前日である10月4日（土）の夜には東北精神神経学会との合同懇親会も行われますので、こちらにもふるってご参加いただけますようご案内申し上げます。合同懇親会につきましても上記の参加申込書でお伺いいたします。

皆様のご発表とご参加をお待ちいたしております。第16回宮城大会の成功へのご協力をよろしくお願い申し上げます。

第16回東北精神保健福祉学会宮城大会
大会長 香山 明美